



こんにちは

# 村田 けい子 です

2017  
9.01  
№ 117

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

## 突然のJアラート(防災無線)！危機感をあおるのではなく冷静な対応を！

29日早朝、けたたましいサイレンとともに、大音響で放送が流れました。北朝鮮がミサイルを発射したため、北海道から長野県までの広い範囲に警戒を求め、「頑丈な建物に避難するよう」求める内容となっていました。防災無線の後は、有線放送でも、そしてケータイの緊急速報メールの着信を知らせる音が鳴り響き、早速テレビをつけました。皆さんはどのような行動をとられたでしょうか。広い範囲での警戒を呼び掛ける放送に、何にもしなかった人が多いように感じました。役場は直ちに幹部が参集したそうです。全国的には地下鉄の運休、私学の休校など対応したところも在るそうです。

結局、あまりに広い範囲での呼びかけでは、「警戒のしようがない」と思いました。またミサイルが落ちてきたら頑丈な建物に入ってもどうしようもないのではないのでしょうか。北朝鮮の狙いはアメリカにあります。アメリカにより北朝鮮の敵視政策をやめさせること、喉元で行われている米韓共同演習など挑発的な行為をやめる事、そして何といたっても、アメリカと北朝鮮の直接対話を直ちに開始するよう、日本政府がアメリカに働きかけることではないのでしょうか。

戦争でもないのに上空をミサイルが飛び交うなど、許されることはありません。まずは対話を実現するために知恵を絞り行動することだと思います。同時にJアラートを発動させて、危機感をあおり、軍備拡張や憲法改悪につなげようとの政府の意図を感じます。

軍事的対応を強めれば、ますます相手を追い込み、かたくなな対応をエスカレートすることになります。敵視政策をやめ、独裁国家だとしても、一つの独立国として対等につきあう外交の力の見せ所です。

## <日本共産党は直ちに抗議声明を発表>

北朝鮮が29日朝、弾道ミサイルを発射したことについて、日本共産党の志位和夫委員長は同日、「北朝鮮の弾道ミサイル発射に厳しく抗議する――対話による解決に逆行する行為を中止せよ」の談話を発表しました。



一、北朝鮮は、本日、国際社会が強く自制を求めているもとで、弾道ミサイルの発射を強行した。これは、世界と地域の平和と安定にとっての重大な脅威であり、累次の国連安保理決議などに違反する暴挙である。通告なしに日本列島の上空を飛び越える発射は、きわめて危険な行為である。日本共産党は、厳しく糾弾し、抗議する。

とりわけ、今回の発射は、米国を含めて国際社会が対話による解決を模索しているもとで、それに逆行する性格をもつ行為であることを、強調しなければならない。

一、世界と地域の平和と安定を破壊し、おびただしい犠牲をもたらす軍事衝突は絶対に回避しなければならないことを、重ねて強調する。

北朝鮮に対して、これ以上の軍事的な挑発を中止することを厳重に求める。国際社会および関係国に対して、経済制裁の厳格な実施・強化と一体に、対話による解決の道を粘り強く追求することを、強く要請する。



草むらの  
花火

今週の  
パチリ

白い花を四方八方に伸ばし、まるで花火のような花。ニラの花です。一つでもよし、束ねてもよし、清楚なそれでいて勢いのある花です。束ねて花瓶にさしています。少しニラの香りが漂いますが、美しい白い花が清涼感を与えてくれます。我が家では食用よりももっぱら鑑賞用に育てています。

## 分館対抗球技大会 熱戦が繰り広げられる



勢ぞろいした選手たち 権現山運動公園

8月27日、権現山運動公園に集まった選手のみなさんは、3年ぶりに開催となったソフトボールの試合を心待ちにしていました。ソフトボールで12チーム、バレーボール11チームがそれぞれのユニフォームに身を固めて、さっそうとグラウンドに整列。各チームとも和やかな中にもやる気満々、チームのプラカードを先頭に整列すると闘志がみなぎってくるようでした。

あいさつの後ラジオ体操、と思ったら音楽がなかなかかからず、結局号令で体操。でもかえってほのぼのとしてよかったですよ。

8時半から2つのグラウンドを使って試合開始。トーナメントなので、一回でも負けてしまうと終わり。それだけに力が入った試合となったようです。

体育館では女子バレーボールの試合が行われ11チームが参加。選手たちの他、監督、サポーター、応援する住民のみなさん、そしてママたちを応援する子どもたち、家族のみなさん。体育館は「それいいぞ!」「ドンマイ、ドンマイ」「もう一本!」点が動くたびに声がかかります。

勝敗はともかく、各チームが地域と一丸となって、みんなで心ひとつに集中して勝利のために全力をつくす。ここにスポーツの醍醐味があります。

試合の後のご苦労さん会も、全力を尽くした選手たち、そして地域のみなさんの温かい交流の場となったと思います。

仕事の後の疲れた体で、一所懸命練習してこの日を迎え、全力を尽くされた選手・監督のみなさん、皆さん全員が輝いていました。本当にお疲れ様でした。



強烈なサーブやアタック、ブロックが繰り出されました。でもレシーブも上手でラリーの続いたバレーボール。ずいぶんレベルが上がっていました。

《結果》ソフトボール 優勝/町区 準優勝/桐原連合 3位/野方・茂田井  
バレーボール 優勝/町区 準優勝/牛鹿連合 3位/野方・藤沢

## ふれあいと安心のまちづくり ～つながる 支える 地域の力～



8月26日(土)老人福祉センターで地域福祉推進町民大会が行われ、蓼科高校生の福祉学習の発表や感謝状の贈呈、「住み慣れた地域で、誰もが生き生き暮らし続けるため～共生のまちづくり～」のタイトルの講演会が行われました。民生児童委員やボランティアの皆さんなど多くの町民が参加しました。主催は立科町社会福祉協議会

講演はルーテル学院大学前学長で福祉が専門の教授 市川一宏氏、全国を回り、福祉計画の策定、実施、評価にかかわってこられた方で、豊富な事例をパワーポイントを活用して紹介しました。

参加者に、「地域の住民のみなさんが集まれる居場所を作るにはどうしたいと思いますか」「閉じこもりの人を引っ張り出してみんなとかかわれるようにするにはどうしたらいいと思いますか」「外国の人が行きたいと思うところはどんなところでしょうか」など私たち参加者に問題を与え、隣の人と話し合ってください」と促しました。まったく知らない隣の人と、与えられた問題について話し合いが行われ、自分の問題として考えあうことができました。

### 【感謝状贈呈】

- ・武者精一さん 16年間社協の理事として尽力、現在でも週2回のボランティアを継続
- ・白樺高原スキークラブ 福祉目的での高額の寄付

今作ろうとしている地域包括ケアシステムについて、イメージが湧くようなお話でした。一人暮らしの高齢者や子育て家庭、引きこもりの方、外国の人などを孤立させないで地域の一員として一緒に生き生きと暮らしていかれるための実践例の詰まったお話でした。地域がお互いを理解し支えあう社会をつくるために大事なヒントが詰まったお話でした。しかし一方で国は、介護保険の縮小・改悪など福祉予算を削って地域や地方自治体にその責任を肩代わりさせるという国の狙いもあります。地域が力と知恵を出す一方で、国にも福祉予算を削らせない、充実させる運動も同時に求められていると思います。

安倍政権になってから連続軍事費が増額となり、福祉は削られ続けています。軍事費や森友問題のような無駄をなくして、高齢社会にふさわしい福祉の充実こそが求められています。